

やまがた出会いサポートセンター
第4回運営委員会 議事要旨

日時：平成27年11月19日（木）

13時30分～15時20分

場所：あこや会館 2階 202会議室

- (1) 来年度事業計画について
- (2) 企業との連携強化について

<委員側>

企業との連携強化により企業間交流をコーディネートしていく場合、会員登録との関係は。

<事務局側>

企業間交流と会員登録は必ずしも連動するものではなく、企業間交流は、会員登録とは別途、出会いの機会を創出しようとするものである。

<委員側>

イベント等の機会を捉えて、出張窓口のような場を設けていくことが必要だと思う。会員登録に向けた若い女性への後押しが少ない状況。結婚に向けた自分磨き支援はカップルになる確率が高まるという成果が見られるが、市町村単独の企画だと限界があるので、県域レベルの企画で地域展開を期待したい。県内男性と県外女性との交流事業も人集めが課題だと思うので、地域と連携しつつ県全体として発信することが必要。ポジティブキャンペーンはいいイメージで発信できていると思うので、もうひと頑張りしてほしい。企業からはこうした取組みは非常にデリケートで難しいとの話を聞く。企業との連携強化のモデル展開でその牙城を崩してもらいたい。登録会員と市町村の担当が接触できると、性格等を見ながらマッチングに向けた支援もできるのではないかと思う。

<委員側>

結婚に向けた自分磨き支援にある無料の講師派遣事業は、市町村事業でも活用できるのか。

<事務局側>

センターとのタイアップによる事業展開をイメージしており、そのような形で役割分担できるのではないかと考えている。

<委員側>

企業との連携に関して、市町村でも取組みを進めている中で企業側が混乱するのではないかと懸念する声もある。すり合わせをして、混乱を招かないように進めてほしい。

<委員側>

登録制のサービスは、独身者の多い企業をみると勤務形態で土日に勤務が入る場合も多く、山形や庄内から離れた地域であればなおさら、今の開所時間では利用しづらい。サテライトの開設や開所時間の延長等があればもっと利用してもらえと思う。市町村の総合戦略の中でも、定住人口の増加に向けて婚活に力を入れていく方向性になった。イベントに加えスキルアップ系のセミナー等にも取り組みたいので、講師を派遣してもらえらる仕組みがあるとありがたい。講師派遣事業の提案では、女性が興味を持つような講座が想定されているが、男性の意識を高めるような講座も開催したい。地域によって男女の意識差にも違いがあると思うので、センターと地域でそうした情報を共有できればいいと思う。

<事務局側>

講師の派遣等については、いただいた意見を踏まえて事業を計画したい。

<オブザーバー>

町内企業の独身男女にアンケートを採ったところ、婚活イベントに男性は参加したいという回答が多いが女性は参加しなくてもいいという回答が多い。参加してもいいと思う企画は男女とも4、5人の合コンという回答が多く、次いでスポーツ等のイベント。開催する場所も、男性は町内がいいという回答が多く女性は町外を希望する傾向がある。こうした中で出てきた案は、町内外で気軽に参加できる「婚活カフェ」。福井県で実施されているようだ。企業との連携の先進事例として参考にしてはどうか。

<委員側>

女性の登録者が少ないのが現状の問題点。自ら行う取組みに傾いている感じがする。もっと外部のイベント等を活用してPRしていくことも考えるべきではないか。

<委員側>

若い世代向けにSNSを活用していくことも情報発信として効果的なのではないか。地域拠点の増設等は難しい面もあると思うが、出張登録会もあるようなので、地域の方の要望を大切に考えて取り組んでもらいたい。働く人の立場で利用しやすくなるよう時間帯についても検討してほしい。企業との連携強化

は商工会等と連携を取って進めてほしい。4、5人の合コンが好まれるとの話もあり、いい企画なのではないか。各団体への会員情報提供は難しいようだが、各団体が主催する有料のセミナー等にセンターの会員が参加する場合に割引の特典を付けるようなことを考えてみてはどうか。

<事務局側>

土日に実施していた定例の出張登録会については、その利用動向を踏まえつつ稼働率の高い土日のセンターに人員を集中し効果検証するため、中断している。その代替として、市町村と連携した説明会・相談会の開催を提案したところ。冬場が近づき、遠隔地からの利用に配慮が必要と考えており、今後調整のうえ再開したい。開催時期や時間帯等、利用しやすくなるよう工夫したい。

<委員側>

相談者から会員登録したがメリットがないとの意見があった。会員情報の提供があればタイアップしてもっとサポートができるのではないか。より連携して取組みが進められるといいと思う。

<委員側>

イベント等で一步踏み出せないところがあり、背中を押してくれるような人が必要という意見がある。イベント等と併せてそうした相談対応をしたい。そのため、計画にある結婚支援者研修は利用したい。若者自身の問題としては自分に自信がないということが言われており、自信を持つためのスキルアップ研修も実施したいので、講師派遣等をお願いしたい。結婚総合相談窓口設置とあるが、具体的にどこに設置するのか。

<事務局側>

電話対応等も含めた総合的な窓口として山形のセンターを拠点とすることを想定している。必要に応じて出張対応することも考えている。

<委員側>

自分から結婚したいと言う人が少なくなってきた。ポジティブキャンペーンのような情報発信は続けてほしい。顔見知りが多く地元では相談できないという声もあるので、総合相談窓口はありがたい。コミュニケーション能力のアップや自分磨きなどの対策も必要なので進めてほしい。

(3) その他 (省略)

以上